

給与等以外の処遇状況(処遇全般)について

- 処遇全般の項目をみると、「職員数の増加による業務負担の軽減」で処遇の改善が図られており、介護保険施設における「夜勤職員配置加算」等の創設など、介護報酬改定の影響が伺える。
- また、「能力や仕事ぶりの評価と配置・処遇への反映」、「昇給または昇進・昇格要件の明確化」、「賃金体系等の人事制度の整備」は今後実施予定の割合が多く、介護職員処遇改善交付金の交付要件にキャリアパス要件を課すこととしている影響が伺える。(第14表)

	総計 (無回答を含む)	改善の実施(予定)				改善の予定なし		
		合計	従来より 実施して おり、 今回さらに 充実	従来、 実施して いないが、 今回新たに 実施	従来及び 今回 実施して いないが、 今後実施 予定	合計	従来より 実施、 今回内容等 を変更なし	従来及び 今回 実施して おらず、 今後も 予定なし
職員の増員による業務負担の軽減	100.0%	32.4%	11.6%	5.7%	15.1%	63.8%	37.4%	26.4%
夜勤の見直しや有給休暇の取得促進等の労働条件の改善	100.0%	23.8%	6.5%	3.3%	14.1%	71.4%	49.9%	21.5%
能力や仕事ぶりの評価と配置・処遇への反映	100.0%	33.5%	9.4%	2.5%	21.6%	62.8%	46.6%	16.2%
昇給または昇進・昇格要件の明確化	100.0%	33.5%	5.5%	3.2%	24.8%	62.2%	42.6%	19.6%
非正規職員から正規職員への転換機会の確保	100.0%	23.8%	7.2%	2.4%	14.2%	71.5%	47.6%	23.9%
賃金体系等の人事制度の整備	100.0%	33.7%	7.5%	3.0%	23.2%	61.5%	42.4%	19.1%